

現在、29カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡高校定時制の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制の同窓会が中心となり1996年5月にスタートしました。現在はNPO市岡国際教育協会が運営し、市岡高校同窓会に後援して頂いております。
URL: <http://ichioka-nihongo.org/>

発行人/市岡国際教育協会理事長 吉田徳夫 /編集/広報係
大阪市港区市岡町2-12-12 TEL: 080-3846-2581
市岡日本語教室は「安田謙字寄金」の助成を得ています。

特定非営利活動法人

市岡国際教育協会 市岡日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校同窓会館
- 日時 毎週金曜日午後7時から8時半
- ボランティア、学習者、募集中
- 見学随時、予約不要

e-mail: ichioka_nihongo@hotmail.com

ボランティア研修会

「日本語を教えるための基礎知識」

3月20日「音声編」/27日「文法」を聴いて

ヒューマンアカデミー
及川篤先生 講義



「初めに言葉ありき 言葉は神とともにありき、言葉は神であった」(新訳聖書ヨハネによる福音書第1章1節)

父、母どちらの血筋から考えても真宗は東本願寺派の寺の孫である。にも拘わらず、厚い信仰心を持たないような私が、冒頭からこのような引用をするのもいかなものかなと思う。しかし、この「神」を「人間」に置き換えてしばらく考えてみる。なるほどと深く納得する。「人間」とは身近な家族、友人、同僚、遊び仲間そして時には行きずりに出会う人たち。「言葉」は、交わす相手があるこそ成り立ち、生きるものだ。

「話す」「読む」「コピーを書く」ことが好きで長年、言葉に関わる仕事を続けて来たが、ご縁をいただき市岡日本語教室にお世話になって3年半。年に数回の講習会には必ず出席して、乱雑ではあるがノートしたものを今、あらためて読んでみた。

このたび及川先生の講義は2週続けて行われた。長い間「日本語教師をめざす人」を指導していらっしゃる先生のお話を興味深く楽しく聴いた。マイクを通してお話になる、そのお声が素晴らしく聞きやすい。

今回は、1回めの「音声編」を聴いて日ごろの学習で感じていることを中心に書いてみたい。私のパートナーの中国人女性Oさん(学級日誌にしばしば登場して頂いている)は来日10年近くになるが、日本語学習との正式な(?)出会いは「市

岡」だったという。見学に来た彼女のお相手をさせてもらったのが偶々私だった。それから2年半になるが1年経った頃には、漢字の国の人ということも幸いしたというものの並々ならぬ彼女自身の努力で日本語能力試験1級に合格した。お子さんたちが学校から持ち帰る連絡メモ、各種書類の読み書き、メールの交換。今では単行本の小説も愉しんで読めるまでになった。日常の会話に不自由することは殆どないが、彼女は「日本人がお話されるように話したい」「通訳として仕事をしたい」という切なる願いを持っている。まさに私にとっても大きな課題で、この課題は非常に難しい。

及川先生は日本語を「外国語」として常に考えること、と一昨年8月の研修でも強調してお話してくださいました。私のノートにも◎をつけグリーンのマーカーで記してある。この点はボランティアが、どの国の学習者に向き合う時にも「自覚」しなければと強く思う。どの「音」が日本語と違うのか、どの「音」を発し辛いのか個々の学習者の「母語」にない日本語の「音」は何か。教える側がココを抑えておかないと上達は見込めないのだということがよく分かった。「口腔断面図」を頂き、ご用意くださったスティックを受講者が口に入れて「音」を発声するという実技もあった。いかに無意識のうちに、私たち日本人は赤ちゃんの時から無意識に日本語を話し発声しているかが分かった。逆に私たちが英語を学ぶ時に「R」と「L」に苦勞することを考えただけでも、外国の方が日本語を話すこ

との難しさをボランティアは優しい気持ちで酌み取り、接しななければならないことをあらためて感じた。「違い」を理解し「自覚」することから始めることだと思う。

及川先生の奥さまはタイの方で(専属の先生が付いていらっしゃるにも拘わらず!)今でも携帯電話のメールは「オシゴト ガンバテネ」といった調子で・・・と苦笑される。「がっ・こう」が「が・こう」に、「せ・ん・せ・い」が「せ・ん・せ」になりがちだ。中国語の話者は小さい「っ」や長音の発音が難しい。これからの学習はトン、トン、トンと1拍づつ手拍子を打ちながら発音の練習をしてみようと思う。

「先生の故郷広島にぜひいちど行ってみたい」とOさんは先日ご夫婦で訪ねてくれた。こんな話を聞いて私は励まされ切なくなるほど胸がいっぱいになった。研修にも必ず自発的に出席して私の隣で熱心に耳を傾けノートをとっているOさん。長くて濃いお付き合いを「言葉」を通して続けてきて私もたくさんのパワーを頂いている。どこまで期待に応えられるか分からないが、愉しみながらレベルアップできるよう一緒に頑張っていきたいと、今気持ちをあらたにしている。

(皇 帽子)

日本語をもっともっとうまくなりたい!

4班 マキシ

私は、1995年、阪神大震災の復興ボランティアとして初めて日本に来ました。ボランティア活動の後、そのまま日本で仕事に就き、後に妻と出会いました。妻と生活する中で、もっと日本語を学びたいなあと思っていました。その時、たまたま妻がNHKで市岡日本語教室を紹介した番組を見ました。それを見たのがきっかけで、2002年からこの教室に通うようになり、たまには休むけど、教室では誰よりも一番古い生徒です。

僕の目標は、漢字の勉強をすること、新しいこと、新しい人と出会うことです。そしてしゃべるのが大好きです。今ではしゃべることも仕事にしている、FMccocol「ランカラサンガ」という番組のDJをやっています。番組では、スリランカの最近のニュース、歌とスリランカのいろんな文化、スリランカの料理のレシピを紹介しています。みなさんも時間があれば聴いて下さい。

私は、毎年、教室で一番楽しみにしているイベントがあります。それは、七夕祭りとお花見です。七夕の時は息子を連れてきて、浴衣を着て、いろんなものを作ったり、願い事を書いた短冊を飾るのが好きです。お花見の時は、普段しゃべらない他の生徒さんとか先生とも飲んだり食べたりして、コミュニケーションをとることが楽しいです。

毎週金曜日に日本語教室に来るのが楽しみで、日本語を勉強したり、みんなと話したり、勉強の後に飲みに行ったりして、それで1週間の仕事のストレスや疲れがとれます。(笑)

この先も、新しい生徒さんや先生が増えて、もっとにぎやかになったらいいなと思います。

学習者の声 その1



日本に来て 5班 オアン (ベトナム)

学習者の声 その2

私は半年ぐらい前に日本へ来ました。大阪にすんでいます。せいかつはだんだん慣れてきました。

日本についてまだよくわかりません。でもちょっとおどろいたことがあります。まずおどろいたのは公衆電話です。どこにも公衆電話があります、使いやすいそしてとても便利だと思います。

つぎにおどろいたのは交通です。日本の交通はぎじゅつがすすんでいます。交通しゅだんはいろいろあります。それに電車やバスもじこどうりに動き、遅れることは少ないようです。

もっとおどろいたのは地下です。地下鉄だけじゃありません。地下街もとても美しいです。それにいろいろな店があります。きつてんやレストランなどです。

日本人の話し方についてとてもおもしろいと思います。私は日本語もまだ上手ではありませんけどとてもびっくりします。日本の人は家の中では、くだけた話し方をします。でも先生やしらない人と話をするときは「です」「ます」といういいいなことばを使います。外国人と話をするときもとてもしんせつです。

今私の国ではまだまだです。日本とぜんぜんちがいます。まちと道もまだきれいじゃありません。でもまちはいろいろビルなどをたてています。たぶん私たちはいろいろもんだいを考えなければなりません。

私とみなさんの国はほんとうにとてもきれいです。

「ますます好評!!」 ジャックの

玩菓

ジャック製菓株式会社

代表取締役 中野 幹

〒577-0809 大阪府東大阪市永和3丁目1-26
TEL:06-6721-0289 FAX:06-6721-0467

10円100円付
ヤッター! めん
(金券入り)

居酒屋 なかもと

味も量も大満足! これだけ食べても、この値段...? 安さを追求。
大阪庶民に愛され、食事のできる居酒屋です。

06-6583-1802

営業 11:30AM~10:20PM 休み 日・祝祭日